



・ 4 4 4 7 3 5 4 0 4 ・ (1)

## キーパッドキット

### 取扱説明書・保証書



## KPD-NWU10K

©2012 Sony Corporation Printed in Malaysia

保証書

持込修理

品名	キーパッドキット		
型名	KPD-NWU10K		
お買上げ日	平成・西暦	年	月 日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口  
フリーダイヤル：0120-222-330  
携帯電話・PHS：一部のIP電話からは、050-3754-9599  
ホームページ：http://www.sony.jp/support/  
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所 お名前	電話	- - 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品（ハードウェア）が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別（出張修理、持込修理、引取修理）をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書（再発行しませんので、大切に保管してください）の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種別は、(1) お買上げのお店、(2) お近くのソニーサービスステーション、(3) 本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用（実費）を申し受けます。

※2 (1) (2) へのご依頼が難しい場合は、(3) にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1) 本書のご提示がない場合 (2) 本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3) 保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (4) 使用上の誤り（取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む）による故障・損傷 (5) 他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6) お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障・損傷 (8) 業務用など一般家庭用以外の使用による故障・損傷 (9) 消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理（製品交換を含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

修理メモ
------

\* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
\* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-4

## 警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。別冊「ウォークマン」の「取扱説明書」も合わせてよくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をお読みください。本製品全般の注意事項が記載されています。

### 定期的に点検する

コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないかなどを点検してください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- 変な音、においがしたら
  - 煙が出たら
- ➡ お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。

#### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

#### 行為を禁止する記号



#### 行為を指示する記号



- 警告

火災
- 感電

感電
- 下記の注意を守らないと  
**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**

“ウォークマン”と本製品を確実に取り付ける。

落下などにより事故やけがの原因となることがあります。  
取り付け後は、確実に取り付けられていることを確認してください。

雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。  
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。

指定以外の機器に使用しない。

火災やけがの原因となることがあります。

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かない。

次のような場所に置くと故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
  - 変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所
  - 変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  - 海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

- 安定していない場所
  - 製品が落ちてけがや故障の原因となります。

- 注意
- 下記の注意を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

コード類は正しく配置する。

コード類は足に引っかけたりして引っばると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

端子を金属でショートさせない。

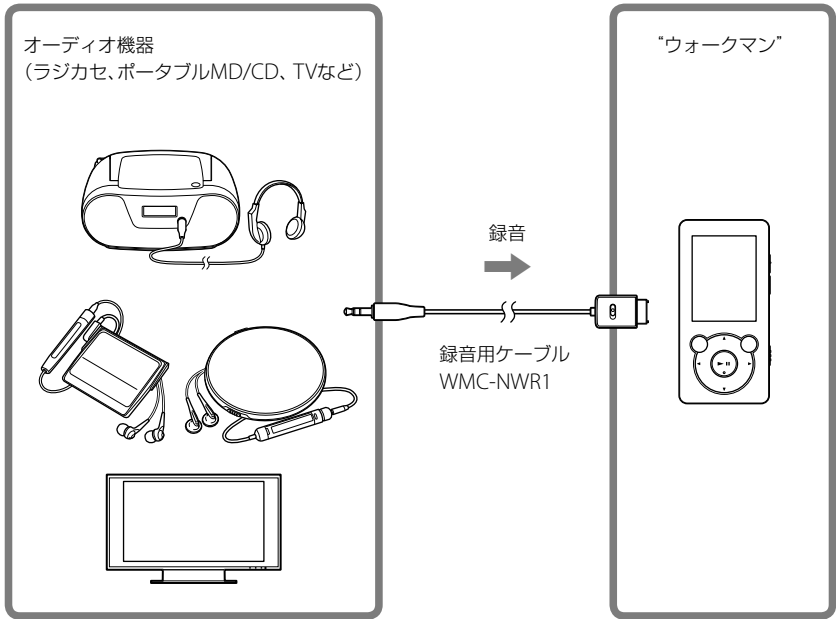
火災や感電の原因となります。

## こんなことができます

本製品は録音用ケーブル(WMC-NWR1)と、キーパッド(KPD-NWU10)のキットです。

録音用ケーブル(WMC-NWR1)

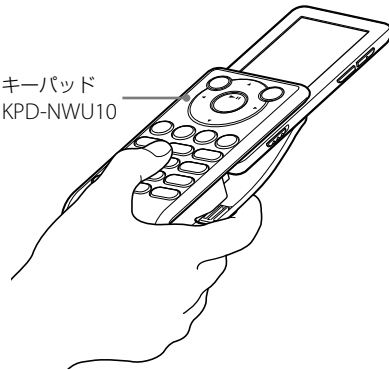
- ダイレクト録音機能を搭載した“ウォークマン”専用の録音用ケーブルです。ヘッドホン端子やLINE OUT端子のある機器からの音楽や音声を、パソコンを使わずに“ウォークマン”に録音することができます。
- 録音レベルを切り換えることのできる、LEVEL(レベル)スイッチを搭載しています。



キーパッド(KPD-NWU10)

- 本製品に対応する“ウォークマン”\*に接続して、録音用ケーブルを使って録音した曲のタイトル、アーティスト名やアルバム名を、パソコンを使わずに編集することができます。
- “ウォークマン”にヘッドホンをつないだ状態で本製品を使用すれば、録音した内容を再生して確認してから編集することができます。
- “ウォークマン”からの給電で動作するため、乾電池などの電源は不要です。

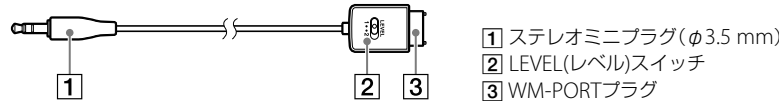
\* 本製品の対応機種についての詳細は、裏面の「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。



## オーディオ機器から録音する

録音用ケーブルを使ってオーディオ機器からの音楽や音声を“ウォークマン”に録音します。

### 録音用ケーブルの各部の名前



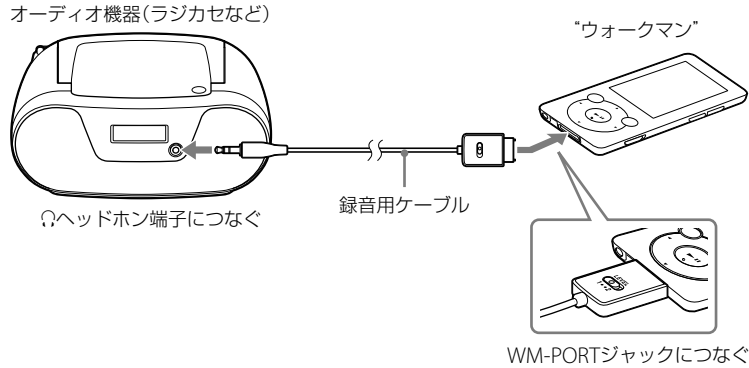
- 1 ステレオミニプラグ(φ3.5 mm)
- 2 LEVEL(レベル)スイッチ
- 3 WM-PORTプラグ

### ① 録音の準備をする

- “ウォークマン”の録音準備をする。  
詳しくは、“ウォークマン”に同梱の「取扱説明書」などをご覧ください。

- 録音用ケーブルを接続する。

オーディオ機器のヘッドホン端子にステレオミニプラグ(φ3.5mm)を差し込み、WM-PORTプラグを“ウォークマン”のWM-PORTジャックにつなぎます。



ヒント

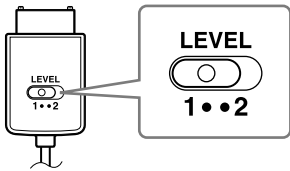
- オーディオ機器の音声出力端子がLINE OUTの場合は、LINE OUT端子に差し込んでください。
- LINE OUT端子との接続には、プラグアダプター（ステレオピンプラグ⇄ステレオミニジャック）が別途必要となる場合があります。

ご注意

“ウォークマン”のWM-PORTジャックへ直接接続してください。他のアクセサリを介して接続すると録音できないことがあります。

- 録音用ケーブルのLEVEL(レベル)スイッチを切り換える。

オーディオ機器によっては音声信号の出力レベルが大きく、そのまま録音すると音割れを起こすことがあります。オーディオ機器の音声出力レベルに合わせてLEVELスイッチを切り換えます。  
手順2でオーディオ機器のヘッドホン端子につないだ場合は、[1]にします。  
オーディオ機器のLINE OUT端子につないだ場合は、[2]にします。



ご注意

LEVELスイッチを[1]にして、システムコンポなどの音声出力レベルが大きい機器から録音すると、音割れを起こすことがあります。その場合は、LEVELスイッチを[2]に切り換えてください。

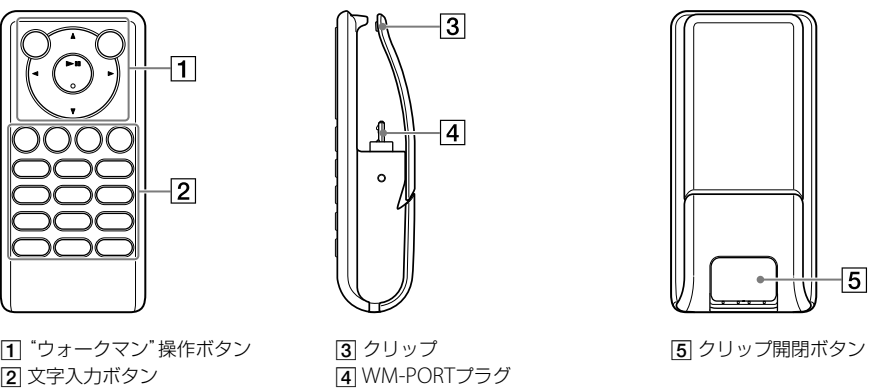
### ② 録音する

詳しくは、“ウォークマン”に同梱の「取扱説明書」などをご覧ください。また、録音元のオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

# タイトル、アーティスト名やアルバム名を編集する

録音用ケーブルを使って録音した曲のタイトル、アーティスト名やアルバム名をキーボードで編集することができます。

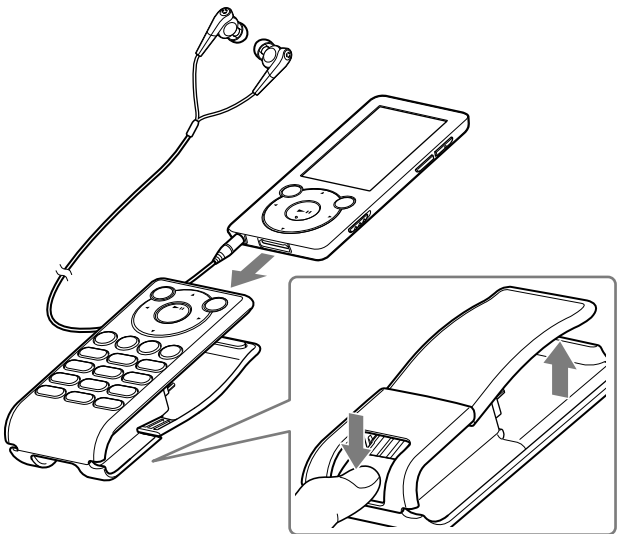
## キーボードの各部の名前



## ① “ウォークマン”をキーボードに接続する

### 1 “ウォークマン”の電源を入れる。

### 2 クリップ開閉ボタンを押してクリップ部を開き、“ウォークマン”のWM-PORTジャックをキーボードのWM-PORTプラグに差し込む。



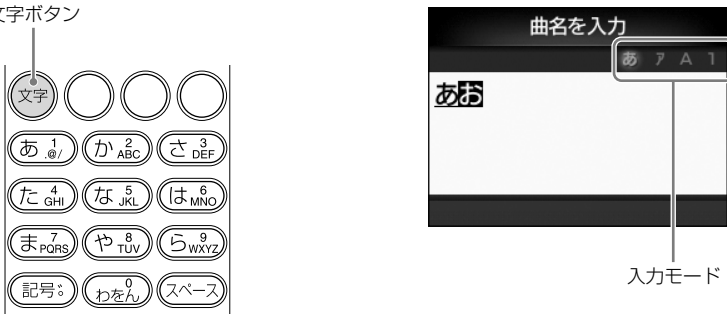
- ヒント**
- 編集する曲を事前に再生して確認したい場合は、“ウォークマン”にヘッドホンつないだ状態でキーボードに接続してください。
  - Bluetoothヘッドホン対応の“ウォークマン”の場合は、Bluetooth接続し、編集する曲を事前に再生して確認することができます。

## ② 編集する

曲名やアーティスト名、アルバム名の編集方法については「操作ガイド」をご覧ください。

### 入力できる文字について

文字ボタンを押すと入力モードが切り替わります。入力モードが切り替わると、入力できる文字が変わります。



### ヒント

- 全角でカタカナ入力をする場合は、全角ひらがなモードで文字をひらがな入力し、変換候補から全角カタカナの文字を選んでください。
- 濁点「**・**」や半濁点「**゜**」をつけるには、文字を入力して記号ボタンを押してください。
- 入力できる最大の文字数は100文字です。

### 全角ひらがな

<b>あ</b> <sup>1</sup> <sub>ㇿ</sub> あいうえお あいうえお	<b>か</b> <sup>2</sup> <sub>ABC</sub> かきくけこ	<b>さ</b> <sup>3</sup> <sub>DEF</sub> さしすせそ
<b>た</b> <sup>4</sup> <sub>GHI</sub> たちつとっ	<b>な</b> <sup>5</sup> <sub>JKL</sub> なにぬねの	<b>は</b> <sup>6</sup> <sub>MNO</sub> はひふへほ
<b>ま</b> <sup>7</sup> <sub>PQRS</sub> まみむめも	<b>や</b> <sup>8</sup> <sub>TUV</sub> やゆよやゆよ	<b>ら</b> <sup>9</sup> <sub>WXYZ</sub> らりるれろ
<b>記号</b> <sub>;</sub> *°.。@-_/!/? ~ ()*#+,^; <=>\$¥%&×÷	<b>わ</b> <sup>0</sup> <sub>をん</sub> わをんわぬゑー	<b>スペース</b> 全角スペース

### 半角カタカナ

<b>あ</b> <sup>1</sup> <sub>ㇿ</sub> アウイオ アイウイオ	<b>か</b> <sup>2</sup> <sub>ABC</sub> カクカコ	<b>さ</b> <sup>3</sup> <sub>DEF</sub> サシセソ
<b>た</b> <sup>4</sup> <sub>GHI</sub> タチツテツ	<b>な</b> <sup>5</sup> <sub>JKL</sub> ナニヌネノ	<b>は</b> <sup>6</sup> <sub>MNO</sub> ハヒフホホ
<b>ま</b> <sup>7</sup> <sub>PQRS</sub> マミムメモ	<b>や</b> <sup>8</sup> <sub>TUV</sub> ヤユヨヤユヨ	<b>ら</b> <sup>9</sup> <sub>WXYZ</sub> ラリルロ
<b>記号</b> <sub>;</sub> *°.。-。-!/?	<b>わ</b> <sup>0</sup> <sub>をん</sub> ワヲン	<b>スペース</b> 半角スペース

### 半角英数字

<b>あ</b> <sup>1</sup> <sub>ㇿ</sub> .@/:-~1	<b>か</b> <sup>2</sup> <sub>ABC</sub> abcABC2	<b>さ</b> <sup>3</sup> <sub>DEF</sub> defDEF3
<b>た</b> <sup>4</sup> <sub>GHI</sub> ghiGHI4	<b>な</b> <sup>5</sup> <sub>JKL</sub> jklJKL5	<b>は</b> <sup>6</sup> <sub>MNO</sub> mnoMNO6
<b>ま</b> <sup>7</sup> <sub>PQRS</sub> pqrPQRS7	<b>や</b> <sup>8</sup> <sub>TUV</sub> tuvTUV8	<b>ら</b> <sup>9</sup> <sub>WXYZ</sub> wxyzWXYZ9
<b>記号</b> <sub>;</sub> !?_() *#^,^; <=>\$¥%&[]{} ゝ	<b>わ</b> <sup>0</sup> <sub>をん</sub> +0	<b>スペース</b> 半角スペース

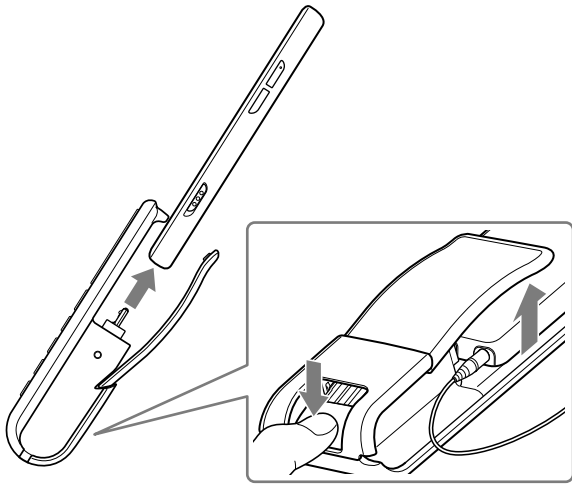
### 半角数字

<b>あ</b> <sup>1</sup> <sub>ㇿ</sub> 1	<b>か</b> <sup>2</sup> <sub>ABC</sub> 2	<b>さ</b> <sup>3</sup> <sub>DEF</sub> 3
<b>た</b> <sup>4</sup> <sub>GHI</sub> 4	<b>な</b> <sup>5</sup> <sub>JKL</sub> 5	<b>は</b> <sup>6</sup> <sub>MNO</sub> 6
<b>ま</b> <sup>7</sup> <sub>PQRS</sub> 7	<b>や</b> <sup>8</sup> <sub>TUV</sub> 8	<b>ら</b> <sup>9</sup> <sub>WXYZ</sub> 9
<b>記号</b> <sub>;</sub> .-#	<b>わ</b> <sup>0</sup> <sub>をん</sub> 0	<b>スペース</b> 半角スペース

## ③ キーボードから“ウォークマン”を取りはすす

曲名やアーティスト名、アルバム名の編集が終わったら、キーボードから“ウォークマン”を取りはすしてください。

### 1 クリップ開閉ボタンを押してクリップ部を開き、キーボードから“ウォークマン”を取りはすす。



## 使用上のご注意

- 本製品に接続する“ウォークマン”に同梱の取扱説明書もよくお読みください。
- 録音用ケーブルを抜くときはプラグ部を持って抜いてください。コード部を持って引き抜かないでください。
- プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な接続は、誤動作等の原因となります。
- 歩きながらキーボードを使用しないでください。けがや事故のもとになります。
- キーボードを逆さにしてクリップを開かないでください。“ウォークマン”が抜けて落下し、故障の原因となります。
- “ウォークマン”をキーボードに取り付けまたは取りはすすときは、必ずクリップ部を開きながら行ってください。クリップ部を開け閉めするときは、指はさみ等にご注意ください。
- キーボードで編集を行ったデータのバックアップを取るには、パソコンをご使用ください。詳しい操作方法は、“ウォークマン”に同梱の取扱説明書をご覧ください。

## 困ったときは

修理に出す前に次のチェック項目をご覧ください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

### キーボードで編集ができない

- “ウォークマン”が本製品に対応しているか確認する。対応機種についての詳細は、「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。
- キーボードに“ウォークマン”が正しく接続されているか確認する。
- 「録音した曲」リストから編集する曲を選択したか確認する。
- “ウォークマン”をいったんキーボードから取りはすして、少し時間を置いてから再度接続する。
- パソコンやドックコンボなどから“ウォークマン”に転送した曲は編集できません。編集できる曲は録音用ケーブルを使って“ウォークマン”に録音した曲のみです。

## 主な仕様

### 録音用ケーブル(WMC-NWR1)

対応機種： WM-PORT(22ピン)とダイレクト録音機能搭載の“ウォークマン”  
入出力端子： 音声入力側：ステレオミニプラグ(φ3.5 mm) × 1  
音声出力側：WM-PORTプラグ × 1

録音レベル切り換えスイッチ： LEVEL1/2

コード長： 約60 cm  
質量： 約10 g

### キーボード(KPD-NWU10)

対応機種： 対応機種についての詳細は、「お問い合わせ窓口のご案内」の「ウォークマン カスタマーサポート」のホームページをご覧ください。  
電源： “ウォークマン”からの給電  
入出力端子： WM-PORTプラグ × 1

最大外形寸法： 約45 × 92 × 25 mm (幅／高さ／奥行き、突起部含む)  
質量： 約55 g  
動作温度： 5℃～35℃

### 同梱品

録音用ケーブル(1)  
キーボード(1)  
操作ガイド(1)  
取扱説明書・保証書(本書)(1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて対応させていただきます。

#### 部品の保有期間について

当社では本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

### 商標

- “ウォークマン”、“WALKMAN”、“WALKMAN”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニー株式会社はライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。



- 本取扱説明書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

### お問い合わせ窓口のご案内

本製品についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇒ ウォークマン カスタマーサポートへ (http://www.sony.co.jp/walkman-support/)
- 最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ ソニーの相談窓口へ (下記電話・FAX番号)  
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  - － 型名：KPD-NWU10K
  - － ご相談内容：できるだけ詳しく
  - － お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください。

<b>使い方 相談窓口</b>	フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS：一部のIP電話 050-3754-9577
<b>修理 相談窓口</b>	フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS：一部のIP電話 050-3754-9599

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社

http://www.sony.jp/support/

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「301」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなげします。

〒108-0075 東京都港区港南1-7-1